

尾道市立市民病院 院内がん登録集計表 -2015年症例-

1.はじめに

がん登録とは、国のがん対策の基礎となる、がん患者数、罹患率、生存率、治療効果などを把握することを目的に、がん治療のために病院を受診した患者さんの治療内容、治療効果、予後などの情報を集め、把握・分析する仕組みです。患者さんへの的確な情報提供や、次のがん対策のための基礎資料としてがん登録は必要不可欠なものです。

広島県内には16施設(国指定11施設・県指定5施設)のがん診療連携拠点病院が指定されており、国が指定する登録様式(がん診療連携拠点病院院内がん登録標準登録様式(2006年版修正版))に準拠して、院内がん登録を実施する事が義務付けられています。

2.集計表について

この集計表は、国が指定する登録様式に準拠して登録されたデータを使用して尾道市立市民病院の部位別のがんの件数や部位別のがんの拡がりごとの治療法を示しています。

これらの集計は広島県内のがん診療連携拠点病院16施設で統一されています。

集計表の項目説明	集計対象期間	2015年1月1日～2015年12月31日	
	集計対象症例	尾道市立市民病院にがんの診断、および治療を目的に初めて受診した症例を集計	
	I 部位別 院内がん登録 登録件数	<登録部位> 原発部位別(臓器別)に集計 転移・再発については登録対象外 1腫瘍1登録 集計値が3以下の部位については“-”ハイフンで表示	
	II 5大がん別件数	我が国で罹患の多い5大がん(胃・大腸・肺・乳・肝)について年別推移を集計	
	III 症例区分別 登録件数割合	症例区分1: 自施設でがんと診断のみされた症例 (当院でがんと診断され、当院で初回治療の施行なしの症例) 症例区分2: 自施設診断・自施設初回治療 (当院でがんと診断・当院で初回治療が施行された症例) <症例区分とは> 生存率を算定する上で対象となる症例範囲を決定する区分 症例区分3: 他施設診断・自施設初回治療 (他院でがんと診断され、当院で初回治療が施行された症例) 症例区分4: 他施設で治療開始後の症例、または再発の症例 症例区分8: その他(セカンドオピニオンなど)	
	IV 部位別 ステージ別 治療法件数	部位別	我が国での罹患の多い5大がん(胃・大腸・肺・乳・肝)について集計
①胃がん ②大腸がん ③肝臓がん ④肺がん ⑤乳がん	ステージ UICC7版	UICC(国際対がん連合)の定める病期分類に基づき、病期(ステージ*)別に分類 UICCでは治療を開始する前(臨床分類)と手術後の病理学的評価(病理学的分類)の分類を行うこととなっている。 当集計表のステージは、手術施行の場合は病理学的分類を優先し 手術未施行の場合は臨床分類を優先して集計。 ※がんの拡がりを0期～IV期(部位により異なる)のローマ数字で表し、数字が大きくなるほど、がんがより進行していることを示している。	
	治療法 (初回治療)	初回治療とは、治療の開始時点において計画された一連の治療を示し、症例区分の「2」「3」に該当する症例を集計。症状・治療の進行に従って後に追加された治療や他院で施行された治療については初回治療には含まれない。	

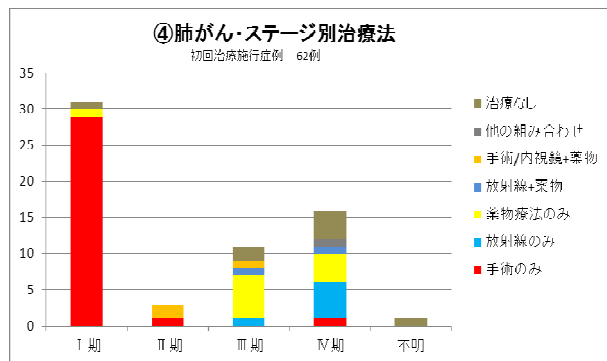
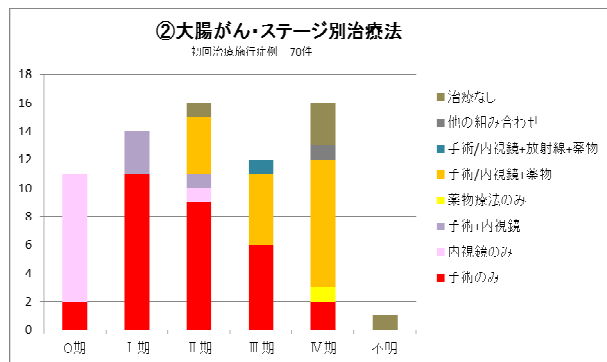
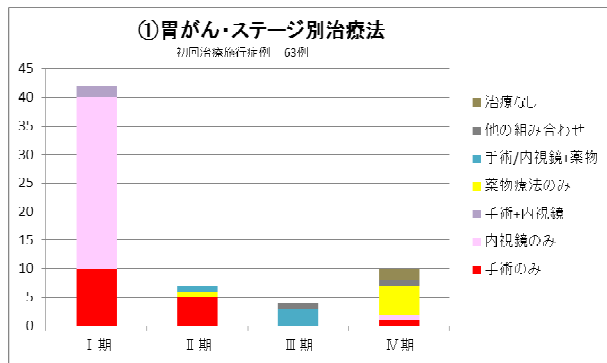
尾道市立市民病院 院内がん登録集計表 -2015年診断症例-
広島県がん診療拠点病院共通様式

I 部位別 院内がん登録件数

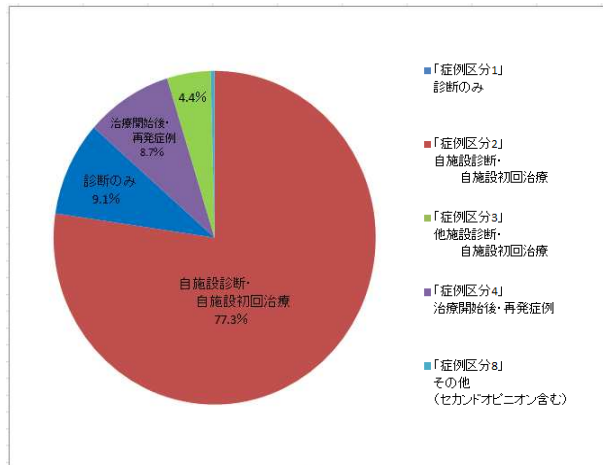
部 位	2015年	
	登録件数	
口腔・咽頭	4	
食道	10	
胃	73	
大腸	85	
肝臓	32	
胆嚢・胆管	15	
膵臓	18	
喉頭	0	
肺	76	
骨・軟部組織	0	
皮膚	13	
乳房	21	
子宮頸部	0	
子宮体部	0	
卵巣	-	
前立腺	54	
腎・他の尿路	22	
膀胱	30	
脳・中枢神経	12	
甲状腺	0	
リンパ腫	16	
多発性骨髄腫	-	
白血病	-	
その他の造血器腫瘍	4	
その他	13	
合計	503	

(集計値が3以下の場合は-で表示)

IV 2015年 部位別・ステージ別治療法



II 2015年 症例区分別・登録割合



III 5大がん別・院内がん登録登録件数(2006年～2015年)

